

「好奇心」

いつも何か新しいことを経験したい。そういう好奇心を持つと毎日が楽しくなる。無謀だと人から言われても、自分なりのやり方で試験的にやってみる。考えてばかりいないで恐れず挑戦する。そういう能動的な態度で行動しているうちに新しい発想が湧いてくる。

(いのちの言葉 日野原 重明 より)

ふわふわの銀色の毛に覆われたつぼみを見つけ春の訪れを待ち望むようにさくことから「望春花」の名もある白木蓮が、大きな純白の花を咲かせ始めました。

暖かい日には、子どもたちは小さな春を探しに散歩に出かけています。小さな花や虫などの自然に親しみ、移り変わる自然に触れたり、見つけた葉っぱや小石などを握りしめポケットにしまう姿も見られます。見つけた時の喜びや嬉しさ、宝物にしている気持ちを大事にしていきたいと考えています。

好奇心は何歳になっても脳を活性化させ、成長させてくれるそうです。「どうして?」「何でだろう」と興味を持ち「面白そう」「やってみたい」「楽しい」と心がワクワクすることで吸収できることが増えてきます。また、関心がある事に向かうことで新しい世界を知ることが出来、様々な物を見たり聞いたり、感じたりすることで心が刺激されていきます。そんな経験がたくさん出来るよう感動を共有したり共に考えたり、子どもの素直な好奇心や探究心を伸ばせるよう日々を大切にしていきたいと思えます。

今年度も残りわずかとなりました。保護者の皆さまにはご理解、ご協力を頂きましたこと深く感謝いたします。ありがとうございました。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子

職員一同

3月聖句

強く、雄々しくあれ。

ヨシュア 1章5～6a節(6節)

3月主題

「おおきくなった」0歳

- ・どんな時も神さまと一緒にいることを感じる。
- ・心も身体も満たされて過ごす。
- ・戸外に出て春の訪れを感じる。

1・2歳

- ・いつも一緒にいてくださる神さまに感謝する。
- ・友だちとの関わりを深め安心して過ごしながら大きいクラスになるのを楽しみに待つ。
- ・季節の変化を感じ、春を見つける。

～子どもたちの姿～

卒園や進級が近づくにつれ、子どもたちの成長をお祝いしてくれているかのように、桜のつぼみが膨らみ始めました。今年のSDGS『人間関係』をテーマに1年間過ごしてきました。4月は5人からのスタートでしたが、今では12人の友だちに増えました。クラス、個人毎に成長や発達は異なりますが、異年齢保育をしていく中で子どもたちから年下児に対して優しく教えてあげたり、一緒にやってあげる。また年上の友だちを見ながら真似をしてみたり、自分でやってみようと思う気持ちを持ったりと様々な面で人と関わりをもち過ごしてきました。今までの経験を胸にそれぞれの場所での更なる成長を祈っています。保護者の皆様には日々の保育に関しましてご理解ご協力いただきありがとうございました。



	月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12	
				身体測定			
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
					誕生日会		
27	28	29	30	31			
					クレイシュ通信		

◎卒園式は3月28日となります。詳細は後日配布いたします。
 ◎進級に当り、ロッカーなどの移動がありますので一度荷物をすべて持ち帰ります。その際にもう一度名前の確認をお願いいたします。